



夏季における火災予防について



今年は新型コロナウイルスの流行により、夏祭り等のイベントが相次いで中止となり少し寂しい夏となっていますが、今回は夏祭り等のイベントに伴う火災事例を2つご紹介します。

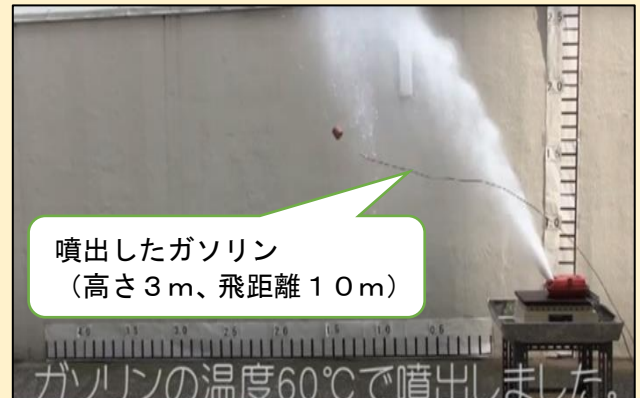
【2013年福知山花火大会露店爆発事故】

夏祭りにおける火災事例として記憶に新しい方も多いと思いますが、これは、2013年8月15日、京都府福知山市の由良川河川敷にて開催されたドッコイセ福知山花火大会において、死者3名及び59名の負傷者が発生した爆発事故です。

原因については、花火大会に出店していた露店の店主が発電機に燃料を補給するためにガソリン携行缶の蓋を開けたところ、噴出してきたガソリンに引火し爆発したものです。

事故後の調査によると、このガソリン携行缶は真夏の炎天下に5時間以上置かれていたうえに、発電機の排ガスの熱風を浴びてかなりの高温になっており、内部の蒸気圧力はかなり高まっていたものと考えられています。露店の店主は、蒸気圧力を逃がすためのエア調節ねじを緩めることなく蓋を開けたため、ガソリンが一気に噴き出し爆発事故を招いてしまいました。

下の写真は、高温環境下にさらされたガソリン携行缶の状況を、東京消防庁が実験・検証したものです。



出典：東京消防庁公式チャンネル YouTube

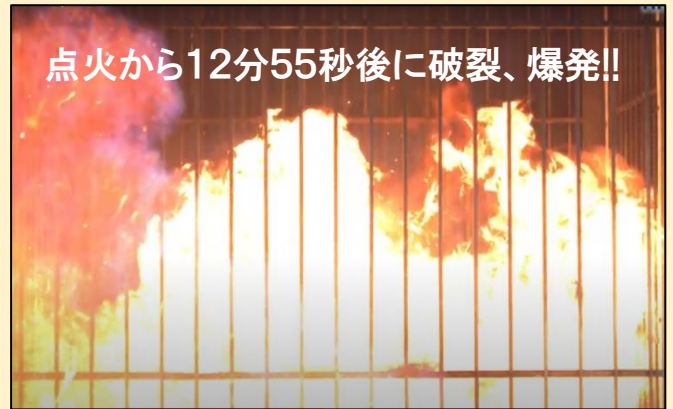
🔥 ガソリンの貯蔵、取扱いに注意！ 🔥

- ・引火点が -40°C 程度であり、**極めて引火しやすい液体**です。
 - 周辺で火気や火花を発する機械器具等を用いない！
 - 保管・運搬する際は、試験基準に合格した容器を用いましょう！
- ・揮発しやすい。空気より重く、広範囲に広がる可燃性蒸気の発生
 - 直接日光の当たらない風通しの良い場所で保管・取扱いをしましょう！
 - ふたを開ける前に**エア調節ねじ**を緩めて蒸気圧を逃がすこと！

夏季における火災予防について

🔥カセットこんろの爆発事故🔥

カセットこんろの誤った使用により爆発し、受傷した事故が発生しています。爆発の原因は、カセットこんろを2台並べ、その上に鉄板や大型の鍋等を置き、バーナーの火により鉄板等が加熱されることにより放射熱を発生⇒ガスボンベが加熱され容器内圧が上昇⇒爆発に至るといふものです。地域におけるお祭り等にイベントの際に、焼きそば等を作るときは注意してください！（※放射熱とは・・・物体が温められた熱で、他の物体が温められることです。）



点火から12分55秒後に破裂、爆発!!

※出典：NITE(独立行政法人 製品技術基盤機構)

🔥火災を起こさないために🔥

- ・カセットこんろを2台並べて使用しないでください。
- ・カセットこんろを覆うような大きな調理器具は使用しないでください。
- ・火気を取り扱う器具の近くに燃えやすいものを置かないでください。
(のれん、可燃性の風除け、飛沫防止用シートなど)

もしもの時のために・・・

- ・消火器などの消火器具の準備を！
- ・火事と救急車は119番(通報は住所から!!)
- ・心肺停止は心臓マッサージとAED
(AEDの場所は宗像消防HPを見てね)



事故防止 火気の扱い 注意して
みんなで作る 夏の思い出

Presented by R. S